

野村に新しい配水池が完成しました！

吉田地区配水施設整備事業として建設していた野村配水池（広丘地区）が、平成30年3月末に完成しました。容量1,200㎡のステンレス製配水池のほか、送水ポンプを備えた管理棟も併設しております。この施設は、郷原配水池、床尾受水池、片丘線西部配水池、上西条配水池に次いで市内5番目となる応急給水拠点施設で、地震などの災害時に配水池から直接、給水車等へ補給したり、市民の皆様は飲料水の給水所として使用することができます。

また、この施設は、セイコーエプソン株式会社広丘事業所新工場へ水を供給するための重要拠点であり、試運転後の平成30年6月下旬から施設稼働され、既に給水が開始されています。

今後は将来的な吉田地区への水需要対策として、給水区域のバックアップ体制や事故等の断水リスクの低減など今まで以上に安定した水の供給と、災害に強い水道施設の更なる構築を図ります。



◇新しく完成したステンレス製配水池（左）と管理棟（右）

塩尻市浄化センターの長寿命化事業 自家発電設備更新工事が完了しました！

塩尻市浄化センターの自家発電機は、浄化センターを建設した当初（昭和60年）から30年以上稼働してきました。

今回、老朽化が著しく、緊急時の対応に支障をきたすことが予想されることから、平成28年度、平成29年度の2箇年に渡り、国の補助事業（長寿命化事業）を活用し、本年3月に更新が完了しました。

この発電機は、災害等の緊急時に施設が停電となっても適切な汚水処理ができる発電能力を有しています。



◇新しくなった発電機

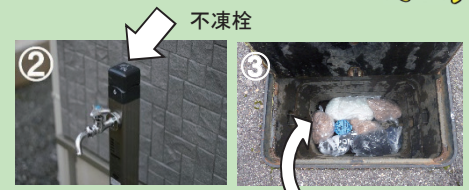
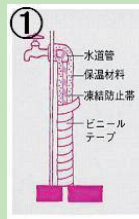
分ちゃん 嶺ちゃんからのお願い！！ 冬の準備と心得をしっかりと！



寒くなったね。冬季期間は、水道管が凍結するから、しっかり凍結防止対策をしてね！水道管が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、破裂してしまったら修理の費用がかかってしまうよ。

●凍結防止の3つのポイントを教えるね！

- ①凍結防止帯を取り付けよう。
- ②不凍栓を閉めよう。
- ③メーターボックス内に、保温材やタオルなどを詰めたビニール袋を入れて、メーターを保温しよう。



タオルなどを入れて凍結防止する。



それと、メーターボックスの上に除雪した雪を置いたり、除雪しないままにしたりしないでね！除雪されてないとメーターの場所が分からなくなってしまうたり、検針できなくなってしまうたりしてしまうからね。

除雪が大変な時期になりますが、ぜひ、皆様のご理解、ご協力をお願いします！



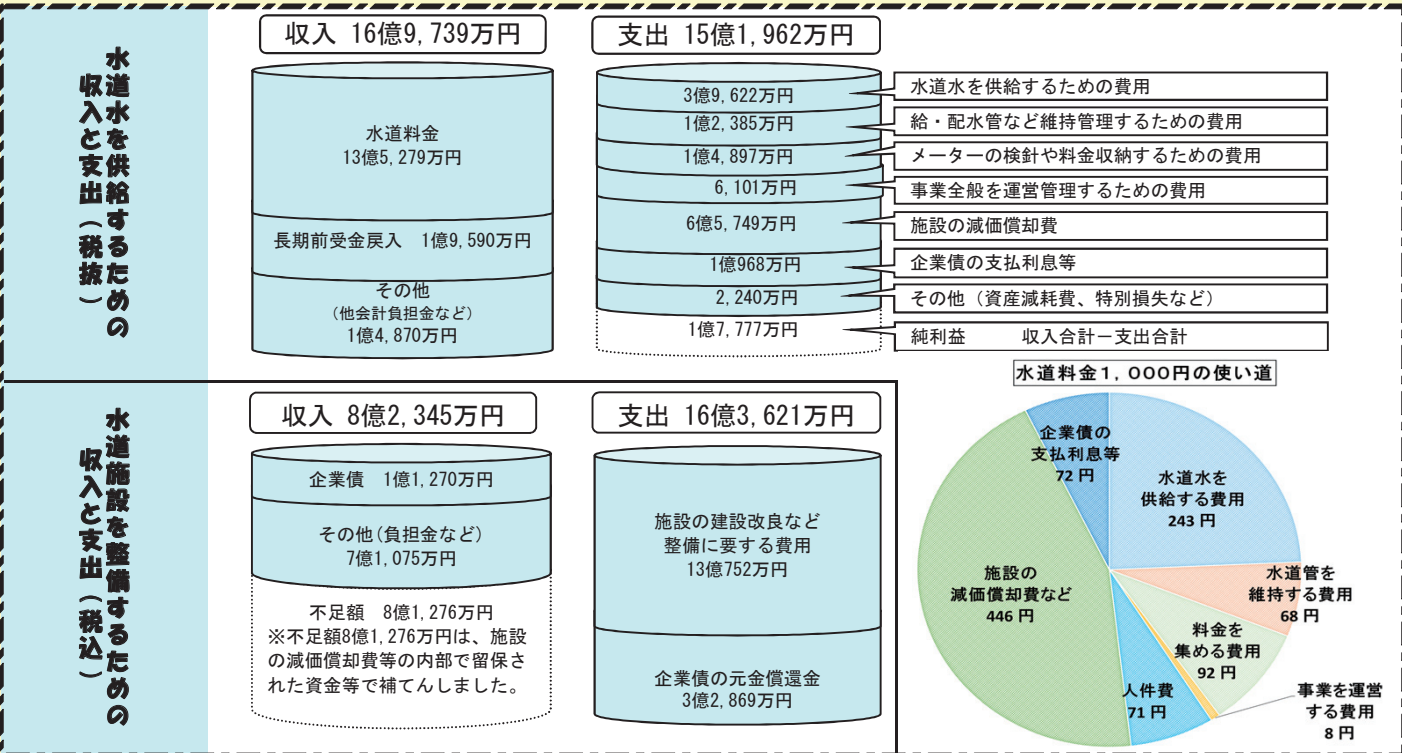
平成29年度決算の概要について

◆水道事業の経営状況◆

事業運営については、安全でおいしい水道水の安定供給や水道システムの最適化による持続可能な水道を目指し、水道施設の機能維持に取組みました。

事業収益については、簡易水道事業の統合に伴う給水戸数などの増加により、給水収益は増収となり、総収益は前年度より増額となりました。一方、費用では、簡易水道事業の固定資産や企業債を引き継いだことなどにより、減価償却費や企業債の支払利息などが増加となり、総費用は前年度より増額となりました。この結果、当年度純損益は前年度同様に利益となりました。

水道事業においては、人口減少社会を迎え、給水収益の減収が見込まれるなかで、浄水場などの大規模な施設の更新、耐震化等を控えていることから、今後も経営の健全化に配慮した計画的かつ効率的な事業運営に努めてまいります。



◆下水道事業の経営状況◆

事業運営については、不断の下水処理や施設の延命化などによる持続可能な下水道を目指し、下水道施設の機能維持と増進に取組みました。

事業収益については、水洗化人口の微増などにより、下水道使用料は増収となり、総収益は前年度より増額となりました。一方、費用では、減価償却費の減額や、企業債残高の減少に伴う支払利息の減額などにより、総費用は前年度より減額となりました。この結果、当年度純損益は前年度同様に利益となりました。

下水道事業においては、人口減少社会を迎え、下水道使用料の減収が見込まれるなかで、多額な企業債の借入れによる償還、浄化センターなど施設の大規模な改築や耐震化等を控えていることから、今後も経営の健全化に配慮した計画的かつ効率的な事業運営に努めてまいります。

